

いしづち

ISHIZUCHI

Vol.30 2019



愛媛県留学生等交流推進会議

Ehime Prefecture Committee for the Promotion of
International Student Exchange

CONTENTS

令和元年度愛媛県留学生等交流推進会議総会を開催	1
留学生日本語スピーチコンテスト in えひめ 2019 を開催	2
受賞者スピーチ	5
その他参加者スピーチ	12
推進会議構成団体が主催又は後援した国際交流事業	23
愛媛県内高等教育機関における外国人留学生受入状況	29
その他の統計・資料について	30
愛媛県留学生等交流推進会議規約	31
愛媛県留学生等交流推進会議構成員名簿	32
愛媛県留学生等交流推進会議運営委員会名簿	33

令和元年度

愛媛県留学生等交流推進会議総会を開催

令和元年10月18日(金)、愛媛大学総合情報メディアセンター4階講義室において、愛媛県留学生等交流推進会議総会が開催されました。

総会には、文部科学省高等教育局 学生・留学生課 留学生交流室 留学交流支援係長 小笠原氏、同留学生交流室 政策調査係 水垣氏を始め、県内の教育機関や公共機関から多くのご出席がありました。

最初に、会報「いしづち」を愛媛大学国際連携推進機構のホームページに掲載することに了承いただいた後、報告事項に移り、留学生日本語スピーチコンテスト in えひめ 2019 の開催について、報告と協力の依頼がありました。

また、文部科学省 小笠原氏から、留学生交流の方針、留学生交流に関する閣議決定、外国人材の受入のための政策等について、配布資料に基づき説明がありました。

特に、外国人材の受入については、今後愛媛大学のような「留学生就職促進プログラム」採択校を中心とした横展開を支援する方針であること、また、帰国後の外国人留学生が再渡日して就職をする際の手続きの簡素化など、高度外国人材の適正・円滑な受入れの促進に向けた取組について説明がありました。

その後、教育機関よりご提案のあった、「留学の効果測定に関する取組状況」、「留学後のフォローアップ体制」、「留学生の就職支援」に関する情報交換が行われました。

今後も、この会議を通じて県内の関係機関が連携し、留学生との交流に関する取組が発展していくことを期待いたします。



留学生日本語スピーチコンテスト in えひめ 2019 を開催

令和元年11月3日（日）、南海放送本町会館 PAL スタジオで「留学生日本語スピーチコンテスト in えひめ 2019」を開催しました。

このコンテストは、平成16年から開催しているもので、愛媛大学国際連携推進機構と南海放送が企画・運営を担当、大学コンソーシアムえひめ国際交流支援部会が共催しています。

今回の大会には、県内の大学・短大・高等専門学校・高等学校から7か国18人が出場しました。愛媛大学 国際教育支援センター 村上和弘センター長の挨拶に続き、1人5分以内のスピーチを行い、内容、日本語習熟度、話し方、パフォーマンスなどを採点基準とした審査が行われました。

コンテストの様子は南海放送ラジオと愛媛CATVで同時生放送されたほか、南海放送のホームページからWebで全世界にLIVE配信されました。

出場者は、日本語や日本人の印象、家族や友人とのエピソード、将来の夢などをスピーチし、会場は笑いと感動で包まれました。

スピーチ前は緊張した様子の留学生もいたものの、コンテスト終了後は賞状を手に記念撮影をしたり、日本語指導をしてくれた恩師と感想を伝え合うなど、リラックスした姿が見られました。今回のスピーチコンテストも、それぞれの記憶に残る一日となりました。

<審査員>

南海放送株式会社 取締役専務執行役員	大西 康司 氏
オレンジバイフーズ株式会社 代表取締役社長	横瀬 達洋 氏
東京ロシア語学院 学院長	藻利 佳彦 氏
新居浜市国際交流協会 事務局長	土井 美智子 氏
愛媛県国際交流員	ロウ イントツ 氏



各賞の受賞者

- 最優秀賞** 日中青少年交流友好推進年-私の提案 シュウ・ユウコウ〔愛媛大学 中国〕
- 優秀賞** 日本留学の道と家族の絆 オウ・テンリツ〔聖カタリナ大学 中国〕
- 佳作** レインボーソング マー・エイキ〔聖カタリナ大学 台湾〕
- 佳作** 外国人が見た日本の異文化 オウ・カンカン〔今治明德短期大学 中国〕
- 南海放送賞** ロン化け（私の長い夏休み）
サイチャ・ジャyson〔弓削商船高等専門学校 ラオス〕
- 特別賞** 記憶にとどまる白い壁 □・エツキョウ〔松山大学 中国〕
- 特別賞** 日本に来てから感じたこと、思ったこと サイ・キンジョ〔愛媛大学 中国〕

その他の出場者

- オリンピック精神と私 ギョク・コクリ〔愛媛大学 中国〕
- 心意気と挑戦 キム・イエチャン〔松山大学 韓国〕
- 中国の夢、私の夢 ホウ・ジンケイ〔愛媛大学 中国〕
- 僕の中の煩惱
アミル・アシュラフ・ビン・ズルカルナイン〔弓削商船高等専門学校 マレーシア〕
- 見えない光 カ・ギョクカイ〔愛媛大学 中国〕
- 私の幸せとは -人生の最期で後悔しない生き方を目指して
ノルハリザビンテイイブラヒム〔新居浜工業高等専門学校 マレーシア〕

美しい日本語の片鱗を見る日まで

セキ・カイ〔松山大学 中国〕

ドラキュラ。伝説の背後にある真実

ステファネスク・ミハエラ・エウジェニア〔愛媛大学 ルーマニア〕

内向的の力

アブ・バカル・ビン・オスマン〔弓削商船高等専門学校 マレーシア〕

韓国を旅行する

キム・ミンジ〔松山大学 韓国〕

日本人は優しい

スロ・リスラエン〔松山東雲女子大学 カンボジア〕



緊張感漂う会場



授賞式の様子



日中青少年交流友好推進年

- 私の提案

愛媛大学

シュウ・ユウコウ 【中国】



皆さん、こんにちは。これから私が発表するテーマは「日中青少年交流友好推進年—私の提案」です。どうぞよろしくお願い致します。

突然ですが、皆さん、日本といえば、一番最初に思い浮かべるのはどんなイメージですか？食べ物のお寿司？有名な会社のソニー？それとも悲しい歴史？戦争ですか？…

そうです、たとえ何年たっても、歴史は変えられないのです。私の親戚の中にも私が日本語を学んでいることを聞いたとき、すぐ怪訝な顔に変わって「なんで売国奴になる？」と私を問い詰めたことがありました。そして残念ながら、私はただ沈黙するだけで何も返す言葉が見つかりませんでした。

そして私が日本語を学び続けて今年で十年目になりました。私はこの十年間、日本と中国がもっと仲良くなることを夢見てきましたが、「本当に、将来私が中国と日本の関係を改善できるのか」と、迷ってばかりでした。しかし、今なら私は言えます。「できます！！私だけじゃなくて、私たちならできます！！いいえ、私たちこそできるんです！！」

なぜなら、私は古来より中国と日本の関係は他の国と比べれば最も近いものだと考えています。中国の漢字文化や習慣を吸収した日本にしろ、日本の現代技術などを学んでいる中国にしろ、これからの文化競争がどんどん厳しくなっていく世界で生き残るためには、憎しみを捨て、団結して共に歩いていくことが必然だと私は思っています。

また、今年、2019年は日中青少年交流友好推進年であり、さらに日本の令和元年にもあたります。この特別の一年に、私は日中友好に二つの提案を進言したいと思います。

まず一つ目はお互いの言語の理解が必要だと思います。言語は文化そのものの核心でありながら、国の象徴でもあります。特に中国と日本は漢字を使っていて見た目はわかりやすいですが、実は両国では同じ漢字でも意味に違いがあるものがあり、誤解を多々生んでいます。例えば、二年前、日本の新聞でこういうタイトルがありました：「澄んだ空目指せ、中国必死」。このタイトルはネット上で大変話題になりました。なぜなら、「必死」と言う言葉は日本語で「一生懸命頑張る」という意味ですが、中国語では「必ず死ぬ」という意味です。この日本語の意味を知らなかった中国人は日本は中国の環境問題を責めて、更に死ぬという呪いをかけていると誤解してしまいました。そしてこの考え方は日本語の元の意図から大きく離れてしまい、日中関係に不利な影響を与えてしまいました。

二つ目は日中青少年の交流機会を増やすことです。皆さんのご存知通り、交流することが他国の物事を知るためには最も近道です。当校の先生方はこの重要性を理解し、日本の愛知淑徳大学と連絡を取り、ウィチャットで日中大学生同士のオンライン会話をしたり、実際に日本の大学生を桂林に招いたりする交流イベントを行いました。この交流を通じて、私達も、日本の学生さんたちも、お互いの国に関して色々学ぶことができました。「へえ～そうなんだ、知らなかった～」とか「うっそ、そんなことありえない！」とか、自然と感嘆詞が会話で溢れ出てきました。

最後に私はこのような言語の学習や両国青少年の交流に力を注げば、将来はきっとより良い日中関係が築け、友情を深め、共に歩み進めることができると信じています。私の提案は以上です、ご清聴どうもありがとうございました。



日本留学の道と家族の絆

聖カタリナ大学
オウ・テンリツ 【中国】



私は勉強があまり好きでなく、物覚えもいとは言えない生徒でした。小学校の時、英語の先生から、一度こう言われたことがあります。「毎回毎回、クラスでのお前の成績ランキングを見る時、お前のいるクラスの人数がわかる。ナンバーワンにならなくてもいい。せめて最後から二番目くらいにはなれ」。その時はまだ小さかったのであまり気にしなかったのですが、今思い出すととても恥ずかしくて、泣きたい気持ちになります。そんな私が、日本にあこがれ、今から3年前、日本に住んでいるおばさんから留学のチャンス进行、日本に来たのです。そして日本語が話せない私は日本語学校に一年間通って日本語を勉強し、おかげで、日常の会話ができるようになり、現在大学で勉強しております。

おばさんは宇和島に住んで働いておりますが、そのおばさんのもとに、年に1回、中国からおじいちゃんとおばあちゃんが訪ねてきて一緒に住みます。でも最近おじいちゃんの体調がすぐれず、とうとう入院してしまいました。おじいちゃんとおばあちゃんは日本語がわかりません。それでおばさんが通訳をしているのですが、そのおばさんも仕事が忙しくて、四六時中、おじいちゃんたちの傍に居るわけにはいきません。本当はおじいちゃんを病院に一人置くことに何の心配もないのですが、うちのおばあちゃんが心配性なので毎日お見舞いに行かないと気が済まないのです。それも朝8時から夜7時までおじいちゃんの傍にじっとついているのです。こんなおばあちゃんに、「おばあちゃんそんなに毎日行かなくてもいいよ。」と言おうものなら、気短なおばあちゃんは自分が行かないと日本語が分からないおじいちゃんが困るし、寂しがっていると言いつ返します。しかし、おばあちゃんはこんにちは、すみませんしか日本語は話せません。気性は激しいですが、思いやりがあります。

こんな性格なので、家族の喧嘩は日常茶飯事です。私はアルバイトの無い土曜日・日曜日に宇和島に帰り、お医者さんや看護師さんとおじいちゃんとおばあちゃんの通訳をしています。時々買い物の手伝いをしますが、間違えると「なんだ、その態度は。グズグズするんじゃない、お前はゴミか。ゴミならリサイクルできるが、お前はリサイクルもできないゴミか！」などと罵倒します。特に節約主義のおばあちゃんは、無駄遣いは絶対許してくれません。もし無駄遣いがばれたらおばあちゃんは本当にキレます。まあ、その気持ちはわからないでもありませんが、さすがに怒りすぎじゃないですか。そしてまた、おばあちゃんの話し方は、少し相手を馬鹿にするというか、見くびるというか、他人からみるとそれは喧嘩を売っているようにも感じます。しかし、おばあちゃんのことをよく知っている人はそうは思っていないようです。おばあちゃんには悪気がありませんし、自分が正しくて、人の欠点を直してやろうという気持ちから言っているのです。おばあちゃんには優しいところがあります。いつもおいしい食事を作ってくれます。そして肉とか果物とかを私に先に食べさせ、自分は残ったものを食べます。いつも家族の世話を焼き、自分がどんなにくだびれていても家族が優先です。いつも喧嘩しますが、家族のみんなはそんなおばあちゃん大好きです。

先生におばあちゃんのことを話すと、「ウンウン、日本にも昔はそんなおばあちゃんいっぱいいたよ。友だちと喧嘩していると止めに入ったり、挨拶しないものなら、よその人にもちゃんと挨拶しなさい、なんて注意されたりしたよ。」と言われました。子や孫に優しすぎるおばあちゃん、年をとると存在感が薄くなっているおばあちゃん、そして家の片隅で黙ってしまっているおばあちゃん、こんな世の中のおばあちゃんに比べると私のおばあちゃんは希少価値かもしれません。まだ老人パワーを発揮しているんですね。そして言葉が通じなくてさみしいからあんなに怒っているのかもしれない。改めてことばの大切さを痛感しています。来週の土曜日には宇和島に帰るつもりです。「無駄遣いしていないか、みんなに迷惑かけてはいないか」とあのおばあちゃんのどなる声が聞こえてきます。でも私は嬉しいです。どんなにやかましいおばあちゃんでも、私にはたった一人のおばあちゃんですから。

レインボーソング

聖カタリナ大学
マー・エイキ 【台湾】

日本の植民地だった台湾は、日本の文化をたくさん受け継いでいます。

私は小さい頃からアニメが大好きで、アニメやドラマを見て日本語を覚えました。そして、日本の歌を初めて聴いた私は、あることに気づいたのです。それは、台湾の歌はほとんど恋愛が中心ですが、日本の歌は恋だけでなく、友情、勇気、夢など、幅広く色々な感情が鮮やかに歌を彩っているということです。

当時、日本語を勉強している最中の私にとって、日本語の歌はまさに百科事典のようなものでした。分からない単語を調べ、その様々な表現を理解できた瞬間は震えるくらい感動しました。この小さな感動があったからこそ、私は日本語の勉強を続けてこられたのだと思います。

しかし、日本語の勉強ができて、応用することはまた別の問題です。日本に留学しましたが、緊張のあまり、言いたい単語が出てこなかったり、言葉にならなかったりして、うまくしゃべれませんでした。このままじゃ友達もできないよ、と焦ってしまい、苦しめば苦しむほど逆効果になりました。打ち解けて楽しそうに話している周りの留学生を見て、羨ましくて仕方がなかったのです。なんで私はここにいるの？私の選択は間違ってたのかな？と自分を疑うようになって耐えがたい孤独感を教室で抱え込んでいました。

曇る気持ちを払おうと、イヤホーンを出して、大好きな日本語の歌を聴いて、落ち着こうとしました。その時、どうしたとか、イヤホーンが故障して、突然音楽がスピーカーから響き渡ってしまったのです。音量の大きさにびっくりした私は、すぐに音楽を止めました。周りも私の音楽にびっくりしたみたいで、急に静かになりました。ああ、終わったーと、私は心の中で泣きながら叫びました。

エイキちゃんも、コナンが好きなのと、隣の可愛い子が急に私に話しかけてきました。私は大変なショックを受けていたのですが、大好きなアニメの話だったので、楽しく会話が出来ました。まだ流ちょうには話せませんが、片言でも通じたと分かった途端、ほっとして、台湾の文化や日本と台湾の歌の違いとかいろいろなことを話しました。台湾でも、ドラえもんや名探偵コナンなどのアニメが放送されていることや、日本の歌が中国語でたくさんカバーされていることなど、その子は日本に深く影響を受けた台湾の文化に驚き、興味深く、うなずきながら聞いてくれました。

台湾の歌って、ほぼ恋愛ソングなんだと、その子が驚いた時に、だからいろいろな感情をテーマにした日本の歌は、私にとっては七色の虹の歌なんだよと、私は微笑みながら言いました。アニメと歌のおかげで、私はやっと話す勇気を出すことができ、いい友達もできました。

日本の歌の中で、一番好きなジャンルは夢や勇気に関する歌です。「傷つくことを恐れず、今は勇気を持って、君を生きてみようよ。」と倉木麻衣が歌うワンフレーズは、とても心に響く私の応援歌です。振り返れば、自分はどこか受け身で、人と関わることを恐れていたように思います。けれど、勇気を出して声をあげ、心が通じ合った瞬間の強い感動は、わたしを一つ成長させてくれました。自分を七色に輝かせるためには、積極的にチャンスを掴まなければなりません。日本でこれからたくさんの友人を作り、様々なことに挑戦し経験をたくさん積んで、自信をもって、自分を生きていきたいと思っています。

外国人が見た日本の異文化

今治明德短期大学
オウ・カンカン 【中国】

日本に来て1年になります。色々な人と出会いがあり、また別れがあり、その繰り返しの中、いっぱい思いやりの気持ちをいただきました。今日、その中の一つをお話しさせていただきます。

私は、ある風の強い日、自転車に乗っていました。すると、前から女の人が乗った自転車がやってきました。その時、彼女の帽子が風に煽られて、地面に落ちてしまいました。私はすぐさま自転車から降りて、その帽子を拾いました。驚いたことに、その人は腰をかがめて「すみません」と言いました。私は驚いた顔で彼女を見ました。「ありがとうございます」と言われるはずだったのを「すみません」と言われたのです。あっけにとられていたところに、彼女はすまなそうな顔をして自転車に乗って行ってしまいました。

日本では、本当に間違っただけでなく、感謝の気持ちを伝える時も「すみません」と言うとは、学校で習いましたが、実際、こんなに「すみません」が多いとは思いませんでした。

他にも、誰かに話しかけたい時に、まず、「すみません」と言ってからスタートします。お店で注文した時にも、「すみません」と言います。電車の中で、ぶつけた方はもちろん、なんとぶつけられた方も「すみません」と言います。こうなれば、ただ目が合うだけでも、「すみません」と言うのではないかと思います。しまうほどです。

中国では、「すみません」と言う時は自分がなにかミスをしたり、良くないことしたり、そんな場面に、「間違っただけですすみません」と相手に言います。助けてもらった時には、「ありがとうございます」と言います。「すみません」を使う場面ははっきり決まっています。日本のようにいろんな場面に使えるのではないのです。

私は日本語を学ぶ中で、日本は礼儀をととても大事する国だと思えるようになりました。そして、日本に来てから日本人がお辞儀する様子よく見ました。いつも、場の空気を読んで、相手のことを先に考えてくれる場面を何度も目の当たりにしました。実際に、私のことを考えて何かやってもらったら、私なら、まず、感謝の言葉が頭に浮かびます。でも、なぜここで日本では「すみません」というのでしょうか。

私は考えました。向こうの配慮で何かやってもらったということは、私のために時間や労力をかけてもらったということ、つまり、迷惑をかけたということです。だから、感謝を先に伝えるというより、先ず「すみません」と伝えるのが、日本人の考えなのではないのでしょうか。

日本に生活している外国人の私達は、毎日、日本人のように、何回も「すみません」と言って生活しています。でも、私の友人の中には、なぜ、「すみません」と言って生活しないといけないのかわからない人も沢山います。しかし、不満を言う前に、せっかく日本語と日本を理解するために来たのだから、「すみません」という言葉について、考えたり、理解しようとしたほうが良いと思うのです。私は「すみません」を通じて、文化の違いを改めて考えるようになりました。幾ら一生懸命勉強しても、異文化を理解しておかないとその国の言語を使いこなせないと思います。これから外国語を勉強する皆さん、その言語を勉強する前に、その国の文化を理解しようではありませんか。

最後に、実は私も まだ完全に理解していない言葉「すみません」を借りて、日本で出会った皆さんに、この一年間、色々教えて頂いて本当にすみません。本当に助かりました。いっぱい思いやりの気持ちをいただいて、ありがとうございます。そして、これからの人生で会える皆さんに、「すみません」と言いたいです。出会ったら、またご迷惑をおかけするのかもしれませんが、すみません、よろしくお願いします。

ご清聴ありがとうございました。

ロン化け（私の長い夏休み）

弓削商船高等専門学校

サイチャ・ジャyson 【ラオス】



私は学校の学生寮で暮らしています。ふだんは男子が約350名、女子が80名の合わせて、400名以上が暮らす寮です。私の部屋は、それぞれの階に22部屋ある5階建ての男子寮で、その1階にあります。建物の1階には寮生の人数分のゲタ箱と郵便受けがあります。そこから奥に向かってまっすぐ長い廊下がのび、つきあたりの窓から、外のあかりが廊下を照らします。靴をぬいで、廊下を進むと、トイレや洗濯室、私たちが食事を作る部屋があり、その奥には両側にずらりと個室のドアが並びます。私の部屋は廊下の真ん中あたりの右側にあります。

いつもは賑やかな寮ですが、夏休みになると寮が閉まるため、留学生以外の学生はみんな自分の家に帰ります。今年の夏休みは留学生たちも私一人を残して、さっさと自分の国に帰ってしまいました。こうして一人ぼっちの夏休みが始まりました。

昼間の寮は工事をしていたり、セミがうるさいくらい鳴いていたのですが、夜になるととても静かです。廊下は両側が部屋なので昼間でも薄暗いのに、夜になると電灯がついて明るいです。この明るさがなんだかイヤなので、廊下の電灯を全部消しました。階段の電灯も消しました。

そして、寝ていると廊下の方から何か物音が聞こえました。え？何？と思って、怖かったけどドアを開け、廊下に顔を出して、恐る恐る見てみたのですが、真っ暗な廊下で何も変わりありません。また、次の日の夜も同じように、廊下からあの物音が聞こえてきました。その物音は大きな音ではないのですが、「カタン」「ゴトン」と何か落ちるような音です。でも、その音がした方を見ても、その時にはもう音はしません。また、次の日の夜中、私はテレビを見ていました。するとまた、あの物音がしました。夏休みはまだ1か月以上あります。一人ぼっちはまだまだ続きます。もう気になって仕方ありません。そこで私は勇気を出して、廊下に出てみました。携帯電話の灯りを頼りに、音のした建物の入り口の方向に向かって歩き始めました。洗濯室をのぞいてみました。何も動きはありません。トイレものぞきました。同じように何もありません。食事を作る部屋をのぞいてみました。ここも変化はありません。あきらめて、部屋に戻ろうとした瞬間、あの「カタン」と音がしました。え?!と、振り返りました。それは冷蔵庫でした。冷蔵庫のドアを開けてみました。何も動くものはありません。ドアをパタンと閉めたたん、また「ガタガタ」と音がしました。すぐ下のドアを開けてみると、そこには携帯電話の灯りに照らされた透き通った氷がありました。触ってみると冷たくて気持ちのいい、氷がいっぱい出ていました。誰もいない寮で冷蔵庫も一人ぼっちで氷を作り続けていたのでした。

特別賞

記憶にとどまる白い壁

松山大学

ロ・エツキョウ 【中国】



青石が敷かれた路面は、水滴が少しずつ染みていき、小さな苔《こけ》が生えてきて、緑が石畳を敷きつめていました。横並びの平屋が、路地の奥に向かって伸びており、夜になると、照明が点々点々として、雑然としているように見えますが、蛇行して一本の線になっていました。

これは故郷の路地です。わたしの住んでいた路地には白い壁がありました。

この白壁は、故郷の路地特有のグレーの壁に比べて、とても目立っています。その壁は路地の中央に位置し、路地を二つのエリアに分けて、まるで路地の標識物になっているようです。

どこに住んでいても、出入りするときは白い壁を通ります。白壁の掲示板には、通知や告知が貼られており、もし誰かの家に祝い事があつたら、みんなで集まってお祝いをします。白壁にある掲示板で助けを求める人がいれば、とても熱心な隣人が困難を解決してくれたり、励ましてくれたりします。

ある日、白壁の撤去に関する告知が壁に貼ってありました。

その日から、白壁のそばでおしゃべりをする人が少なくなり、皆はいつも自分の損を恐れて、自分の利益のために立ち回るようになりました。「早くしろ、古い家を早く取り壊して、撤去してくれ」と言われているような気がします。時折白壁の向こうから声が聞こえてきましたが、それは移籍金の分配のために喧嘩していたのです。人々は昔と同じように集まってきましたが、これはわたしの知っている親切に人を助けてくれる人が話しているのでしょうか。

撤去によって白壁は取り壊されましたが、新しい壁が人々の心に建てられました。社会が急成長している今、古い家が取り壊され、一つのビルが建てられているのに対し、わたしたちはあまり振り向くことはありません。わたしたちは今、快適なビルの中に住んでいて、振り向きもせずに走っていますが、後ろの足跡も村も影も、もう跡形もありません。

「故郷」は根があり、実体があり、豊富な内包を与えられたキャリアであり、記憶と感情を繁殖させ、人生活動と歳月の内容を乗せています。それは無数の人の精神のシンボルと感情の寄託を与えられたものです。「故郷」が人の身の上と成長を探究し、その生命の特徴と精神遺伝子の源をたどる使命を失って、いわゆる「故郷」はすでに一つの空語、一輪のうその花になってしまいました。

わたしたちに必要なことは、心の生息する故郷を探すことです。人間は感情のないロボットではありません。テクノロジーがいかに発展し、社会が進歩しても、感知や観察そして感動を忘れてはいけません。生命の中で本当に重要なものに注目して、生命の意味を感じて、細かいことに惑わされないで、本当の心を見失わないようにするべきだと考えます。そうでなければ、作家の三毛さんが言ったように、心の生息する故郷がどこにもなければ放浪してしまいます。冷たくて精巧な社会と温かさや愛に満ちた社会、どちらにしますか。冷たいエゴイストではなく、心の中にある太陽のような人になってほしいとわたしは思います。

故郷がなく素性もないのに人はどうして自分が誰で誰のものであるかを確認することができるのでしょうか？ 来る道がなく、道しるべがなく、人はどのようにどこから来て、どこへ行きますか？

この時代、変わったものが多すぎて、不変のものが少なすぎました。速いものが多すぎて、遅いものが少なすぎます。

日本に来てから感じたこと、思ったこと

愛媛大学
サイ・キンジョ 【中国】

皆さん、こんにちは。愛媛大学の交換留学生のサイキンジョです。

日本に来て、もう半年が過ぎました。今から見れば、日本に来られてとっても良かったです。今日は、私が日本に来てから感じたことや、思ったことについて皆さんにお伝えしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

今年の3月27日、私は同じ大学の友達二人と一緒に日本に来ました。初めて日本に来る私たちの心の中には、いろいろな不安と心配が入り交じっていましたが、しばらくして、落ち着いた後では、意外に早めに日本の生活に慣れました。熱心に説明してくれた寮の管理員さんたちや、学校の先生たちと優しい職員のかたがた、いつも私の日本語学習を支えてくれるJ-supportの皆さんや、お世話になっているホストファミリーの家族の皆さんのおかげで、私の留学生活も豊かになりました。日本に来てから、イベントや活動に参加して、初めていろんなことを体験し、日本の文化や生活習慣について、興味がどんどん増してきました。だから、卒業論文も日本文化をめぐるテーマにして、日本の正月と中国の春節の比較を研究したいと思っています。

先ほど申し上げた通り、日本に来たのは初めてです。正直言うと、海外に出たのも人生初めてです。中国に生まれ育った私は、ずっと海外に行きたい、外国の生活も体験してみたい、若いうちに自分がやらないことにチャレンジしたいと思ってきました。私にとって、日本の生活はまだ短いですけど、日本のことが好きになりました。日本というと、一番印象に残ってるのはやはり環境です。中国にいた時に、よく先生たちから「日本の道路にはゴミ箱がない」という話を聞きましたけど、その時は全然信じられなかったです。来てみたら本当に道を歩くと、ゴミ箱は一つも見つからないのです。ゴミ箱が設置されていないのに、道路がいつもきれいな状態を保っているのは、考えてみるとちょっと不思議ですが、確かにそんなのです。それだけではなくて、日本で生活し始めたばかりの私が最初に苦戦したことといえば、ゴミの分別でした。「何をどこに捨てればいいのか分からない」「ルールが多すぎる」など、私のようなゴミ分別をしたことない外国人にとって、日本のゴミ分別は確かに難しいことです。

しかし、よく考えたら、分別はめんどくさいですけど、環境保護のためには、これが当たり前のことです。最近、中国の上海ではゴミ分別をやり始めました。面倒臭いという文句も多いけれど、よい環境を保つのは、私達みんなの責任ではないでしょうか？上海から中国全体に押し進めるのは、多分かなり時間かかることだと思いますけど、日本のような、より住みやすい国を築きたいなら、これがその第一歩です。

最近、私もホストファミリーのお母さんに未来の進路について聞かれました。以前、この問題で迷っていた私は、今は前よりも、少しずつはっきりしてきた気がします。

私は、日本が好きです。日本の大学院に入りたいです。日本語が専門の私にとって、自分の専門知識をよく学んで、将来、自分の能力を活かして、中日両国の交流の橋をかけ、両国の友情を更に深めたいと思います。できることから中日関係を改善することに自分の力を捧げたいと思います。新しい時代、新しい立場から、両国の政府もより強い関係を築き、文化と科学技術などの交流を通して理解を深めつつ、両国の明るい未来を進めなければならないと思います。以上です。ご清聴ありがとうございました。

オリンピック精神と私

愛媛大学
ギョク・コクリ【中国】



皆さん、こんにちは。玉国力と申します。本日、私が発表するテーマは「オリンピック精神と私」です。どうぞよろしくお願ひします。

私はオリンピック精神はいつも我々のそばにあると思っています。

私にとって、オリンピック精神とはあらゆる善と美の集合体であり、その精神によって世界をより良いものに変えていけるものだと思っています。国際オリンピック委員会が定めた『オリンピック憲章』の中にこう記されています。「オリンピック精神はスポーツを通じた相互理解の増進と友好の精神による連帯、そしてフェアプレイである」ですから、今までのオリンピック大会でも、来年の東京オリンピック大会でも、競争だけではなく、協力関係もあることこそが本当のオリンピック精神と言えます。

あいにく、自分はあまり運動しませんから、競技と呼べるようなスポーツはほとんどできません。しかし、私はオリンピック精神が競技場にしか存在しないとは思っていません。私達の生活は常に他人との競争の中にあります。ですからオリンピック精神はいつも私たちのそばにあると思っています。

人は生まれながらに、一人の選手として人生というマラソンを走っています。そして、自分の走っている道を邪魔されることだってよくあります。困難に出会ったとき、逃げ出す人もいますが、逃げずに立ち向かって走り続ける者も大勢います。例え辛くても、苦しくても諦めずに勝ちたい。このような強い感情こそがオリンピック精神の根幹を成すものではないでしょうか。しかし、自分が傷つくことを恐れて自らの能力の限界を認識して、耐えられない困難を避けるのは決して恥ずかしいことではありません。自分一人で解決できないことに遭遇すると、誰でも落ち込んでしまう時があります。その際に、周りの人からの支えが大いに役に立ちます。

私は落ち込んだ時に、いつも友達に支えてもらっています。彼らが私の傍にいてくれるおかげで、私は一人ぼっちとは思いませんでした。勇気を与えてくれた友達は、私にとって掛け替えのない存在であり、お互いに理解し合い、仲良く団結している私達の中にも、きっとオリンピック精神が含まれているはずで

す。フランス人のクーベルタンは1894年にオリンピック復活を提唱した際に、「新たな可能性をその中に注入すべきだ」と発言しました。そしてその意思を継ぎ、オリンピック精神は時代によってこれからも進化していきます。私は日本語学習者として来年の東京オリンピック大会もきっと、今までの大会より、もっと素晴らしいものになると私は強く信じています。そして私は中国人として2022年の北京冬季オリンピックが2008年の北京オリンピックを上回るようなオリンピック精神で満ち溢れ、世界中に感動を齎すことを確信しています。

最後にオリンピック精神は競技場だけに存在するものではなく、私たちの手の届く範囲にも存在します。困難と出会った時、回避するにしても立ち向かうにしても、人生のマラソンは決して止まりはしません。そして、人生の終焉に自分で書いた物語こそが一番輝き、「人生はまさにオリンピック精神だった」と思うことができるのです。

ご清聴どうもありがとうございました。

心意気と挑戦

松山大学
キム・イエチャン 【韓国】



皆さん、こんにちは。お先に質問したいことがあります。皆さんは今までどれくらい積極的な挑戦をしましたか？おそらく、今日の留学生たちは全員、留学を挑戦しています。無論、私も今挑戦しています。

しかし、自分の挑戦は今だけではなく、日本に来る前から挑戦を始めました。軍隊を除隊して復学した後に、日本に交換留学の機会があると大学から知らせてくれました。その時に留学したいなと思って本格的に日本語の勉強を始めました。それで、交換留学の最小条件である JLPT2 級に挑戦して合格しました。また、大学の先生方々の面接に挑戦して合格しました。

実は、私は積極的な人とはほどとおいし、むしろ消極的な人でした。しかし、日本に留学したいという思いがきっかけになって、自分はどんどん積極的な人になりました。何かに挑戦して、それを成功した時の気持ちを知らず知らずのうちに得たものが多いと感じました。

日本に来てからも挑戦は続きました。初めての市役所の業務、初めての日本の通帳作り、国際センターの方々とのお話など日本の生活は初めばかりでした。また、味噌汁を作ろうと思いましたんですが、ダシダという韓国の肉の味のだしを入れすぎて豚汁みたいな汁になったこともありました。

日本人といっぱい話したいと思いながら日本に来たんですが、留学の生活だけでは、日本人と話し合う機会がかなり少ないです。それで、自分が積極的に活動しなければならないと思って、サークルの新入生歓迎会に参加して入部しました。最初は、私は 4 年生で留学生なのに、周りの人は全部新生入生だけで、どうしようと思いました。そうして、サークルの人たちと親しくなりたくて飲み会に参加しました。もちろん、私がお酒を好きなこともあります。飲みながらコミュニケーション、ノコミュニケーションをしながら部員たちと親しくなりました。

日本に留学したいという思いと日本での生活しながら思ったのがきっかけになって、私の性格は心意気な挑戦者になりました。私は日本留学の時期を人生の変換点だと思います。この心意気は留学だけではなく、どこでも、いつでも有益な結果をもたらすと思います。

したがって、今、私はスピーチコンテストに挑戦しています。
ご清聴ありがとうございました。

中国の夢、私の夢

愛媛大学
ホウ・ジンケイ 【中国】



皆さん、こんにちは。包仁恵です。本日私が発表するテーマは「中国の夢、私の夢」です。どうぞよろしくお願いいたします。

私の夢は何でしょうか。この質問の答えは多分私だけが知っています。では、中国の夢は何でしょうか。ネットで調べると、答えがすぐに見つかります。それは「中華民族の偉大な復興の実現」といわれています。しかし、これは政府がいう中国の夢です。本日、ここで、私がお話ししたいのは私の心の中の「中国の夢」です。

まず「私の夢」をお話します。私は小学一年生の時に、担任の先生から聞かれた「あなた達の夢は何ですか」という質問をまだ覚えています。その時は、大好きな担任の先生が国語の先生でしたから、「私は国語の先生になりたい」と先生にゴマをすったのを覚えています。

しかし成長する間に、私の考えはころころと変わりました。漫画家やデザイナー、小説家などにもなりたかったです。では、今は何でしょうか。私は今、喫茶店の経営者になりたいです。毎日コーヒーを入れて、お客様とおしゃべりして、とても平凡な生活のように見えるけど、私には確かに小さな幸せがそこにあると感じられるからです。

それだけではなく、私が喫茶店を経営したい理由はもう一つあります。喫茶店は皆を幸せをすることができる場所です。初めて喫茶店へ行ったのは中学の頃でした。その前に、喫茶店に入ったことがありませんでした。しかし、あの日、私が喫茶店の扉を押しあけた、あの瞬間、私が変わったのがわかりました。喫茶店の中では音楽がゆっくりと流れていて、皆コーヒーを飲みながら、おしゃべりし、笑顔も見えました。とても幸せそうでした。そして私も、この幸せに共感することができました。私はその時から、喫茶店を経営しようと心の中で決めました。

では、中国の夢とは一体何でしょうか。「中華民族の偉大な復興が実現する」というのは、実は中国が大国になるということです。こう見ると、私の夢なんかはとても小さくて、取るに足らないものです。しかし、私はそんな夢の大きい小さいは関係ないと思っています。それは一人一人の夢が集まって大きな夢を作っていることを知っているからです。

昔、幸せとはただ衣食が満ち足りることでした。今の私達がいつでも喫茶店のサービスが楽しめるのは国が発展したおかげです。中国の発展につれて、私達のニーズは多様化されてきましたが、基本的には十分満足できるものです。みんなも物質面ではだいぶ幸せになってきたと感じているのではないのでしょうか。それは昔、私達の祖父母や両親一人一人が必死に願って絶えず努力したからこそ、この夢が今実現されているのです。これはみんなの夢が集まって、一つの大きな夢が成し遂げられた実例です。

最後に、私の夢も、中国の夢も、みんなの夢もつながっています。私が夢を追い続ければ、中国の夢も前進します。私はこの夢が叶うように、一生懸命努力して、目標へ向けて進んでいきます。

以上です。ご清聴ありがとうございました。

僕の中の煩惱

弓削商船高等専門学校

アミル・アシュラフ・ビン・ズルカルナイン【マレーシア】



僕は昔から背が高い人になりたかったです。僕の身長は 160 センチです。マレーシアの成人男性の平均身長は 167 センチです。日本人の平均は 171 センチなので、マレーシア人はもともと低いのですが、中でも僕は低い方になります。子供の頃はプールに入れなかったり、ジェットコースターに乗れないこともありました。弟より身長が低かったので、弟と勘違いされることもありました。だから弟と出かける時は厚底の靴を履いていました。それから一番嫌なのは飛行機。頭より高い場所にある荷物棚に荷物を乗せるときです。力の弱い人や女性なら分かりますが、僕は背が低いというだけで、何回も助けられたことがありました。とても情けなく感じるのです。だから、背が高い人はかっこよく見えて、何でもできると思っていました。

そこで、もし僕が身長 180 センチだったらどうなるか想像しました。サッカーなら誰も届かない高さのヘディングシュート、バスケットボールならダンクシュートも決められる。モデルみたいにかっこいいスーツをビシッと着てみたいし、女の子にもモテてみたい。身長が高ければすべて解決できるような気がします。そして、飛行機です。荷物棚にはひょいっと荷物を乗せることもできます。そして、座席に座ります。するとどうしたことでしょう。身長が高くなった分、手や足も長くなり、膝は前の席につかえて痛いし、腕はとなりの人に当たらないよう折りたたみ、あれ、なんだかこの座席キツイかも。今までだったら余裕があって、どんな姿勢でもすぐに眠ることができたのに。

哲学者パスカルの言葉で「クレオパトラの鼻がもう少し低かったら歴史は変わっていただろう」という言葉を見つけました。美しい女性の鼻がたった数ミリ低かっただけで、歴史が変わったりするのでしょうか。そして今、この僕が生きている世界も何か違っていただけでしょうか。

前に、なぜ人の身長はそれぞれ違うのか、同じ身長に育たないのかと思ったことがあります。もし世界中の人が 180 センチだったらどうなるのでしょうか。試合開始に整列した選手が全員同じ身長、ホームに立って電車を待つ人がみんな同じ身長、店に並ぶ服が全部同じサイズ。僕が見たかった世界はこういうことなのでしょうか。

サッカーで悔しい思いをしたのは、全部背が低いからだと思っていました。でも、もっと早く走って、もっと高くジャンプすればボールに届いていたのかもしれない。負ければ悔しいのは僕だけじゃなく、みんなも悔しいし、勝てばみんな嬉しいのです。チームの仲間と走って、汗をかいて、笑って、実はそれだけで十分幸せなのです。

でも、スーツをビシッと着て、高い荷物棚に軽く荷物を上げ、隣にいるきれいな女性の荷物まで手伝ってあげる、なんてことを、やっぱり一度はやってみたいと思ってしまいます。

「それは煩惱だね」と言われました。仏教の世界ではこういうのを「煩惱」と言うそうです。その数は 108。これは身長だけで解決できそうにない。

見えない光

愛媛大学

カ・ギョクカイ 【中国】



皆さん、こんにちは。

私は大学で、身体障害者の動きを助けるための、組み込みシステムやVRについて学んでいます。

突然ですが、障害者について、どう思いますか。

はじめに、一緒に簡単な実験をしたいと思います。

今、皆さんは私が見えますよね。まず、両目を閉じてください。何か見えますか、何も見えませんか、しかし、わずかの光を感じますよね。では、両手を両目の上に当ててください、光はありますか。視覚障害者が見ている世界はもっとひどくて、わずかの光も感じられません。手を下ろしてください、ありがとうございます。

私の国、中国では、そのような人たちの生活はまだ不便で、それを助けるシステムは利用しやすい形で普及していません。

日本は障害がある人、生活が不便な人のための設備が整っていて、そのような人達のプレッシャーを減らすため、いろいろな取り組みが行われていると思います。つまり、どんな人にも優しいシステムがあります。具体的に何があるでしょうか。

例えば、このビルの入り口、何かありますか、ヒントは階段と何かです。あまり気にしないかもしれませんが、スロープです。スロープは荷物を運びやすくするために作ったわけじゃなくて、元々は、手足が不自由な方に利用されるための仕組みで、車いすを簡単に通れるようにするためです。このビルだけじゃなくて、学校や普通の建物にも、車いすの人をサポートする仕組みが色々あります。

外出して、バスや電車に乗るときに、開いたドアの方向に車体が傾いて、乗客が乗りやすいようになっています。もし車いすに乗っている人がいれば、必ず係員がその人の隣にいます。係員がスロープを持って、電車が来るときにスロープを電車とホームの間に置いて、車いすをおして電車に乗ります。そして、バスや電車の中に車いすの専用スペースが設置してあります。降りる際、その駅の係員がスロープを持って待っています、駅に出るまでずっとサポートしています。

多くの日本人は、周りの人に迷惑をかけないことをずっと気にしています。障害者の方たちも、もちろん、そう考えていると思います。だからこそ、私たちが色々考えて、そのような人達にも優しい取り組みを作りましょう。ただ身体的なサポートだけじゃなくて、気持ちも考えましょう。なぜなら、私たちもいつか年を取って、このようになるかもしれないのですから。

光があって何の不自由もない生活をしていると、光のない生活について、また、不自由な生活について、考えることが難しいと思います。私が伝えたいのは、身の回りにある配慮が誰のためにあるのか、普通に会えない、あまり気にしていない人たちの生活を気にしてほしいということです。

誰の心の中にも、配慮という心の光があります。見えている世界に、心の光を当てることで、誰にとっても暮らしやすい社会を作ることができるのではないでしょうか。

私の幸せとは

—人生の最期で後悔しない生き方を目指して

新居浜工業高等専門学校

ノルハリザビンティイブラヒム 【マレーシア】



皆さんは、「インナーワーキング」というディズニーのアニメ映画（レオナルド・マツタ監督）を見たことがありますか？ これは2017年に作られた6分くらいの短い作品です。私は去年見て、とても考えさせられました。男性が朝起きて、シャワーを浴びます。画面には彼の脳、心臓、腎臓、胃、腸といった内臓の写真も表示されています。彼は午前9時にオフィスに到着しなければなりません。彼の胃は空腹のメッセージを送ります。しかし、彼の脳は会社に遅れずに行くことを指令します。

彼はレストランで美味しそうな料理を見かけます。食べたい。が彼の脳は、それを食べたら肥満になる、健康に悪いと判断し、彼が食べるのを許しません。

これは戦争です。彼の「～したい」という感情や心は、彼の脳の「健康で働き続けろ」という指令に邪魔されません。

彼は悲しい。彼は毎日働きます。が、彼の顔は酸っぱくなっています。

私もそれを見て悲しくなりました。彼の内臓と心が「脳」にコントロールされている、彼の自由が「脳」によって制限されている、そして、私たちの自由も。

私は、映画を見ていて、最初、内臓と心が自分自身で、「脳」が自分の周囲の人だと感じました。私たちは自分のやりたいことをしたいのですが、周りの人は時にこの映画の「脳」のように「あなたのため」と言って、「あなたはこれをしてはいけません。あなたはそれをするにはできません」と私たちの意志を制限し、自由を奪います。私は自分がやりたいことをしたい。

私たちは誕生し、そして、必ず死にます。これは誰にも否定できないことです。

人生の最期の時、それまで自分がやりたいことをやらないで生きてきたら？ それは、自分の人生だったと言えるのでしょうか？ 私たちはきっと後悔し、みじめな思いになるのではないのでしょうか。

私たちは皆、自分の人生をコントロールする権利を持っているのです。自分以外の他の人たちの考えに、私たちの人生を支配させていいのですか？

もちろん、自分が好き勝手に生きて他の人の生きる権利を奪っていい、というわけではありません。

私は私らしく生きたい。そして、他の人の生き方も認めたいと思っています。

私の両親は、私が日本に留学して勉強するのを認め、応援してくれています。とても幸せなことだと感謝しています。私の友人には、希望する大学に進むのを両親に許されなかった人もいますから。

私は両親・家族をとても愛しています。離れているのが寂しく、休みのたびにマレーシアに帰り、友人たちから「お金がもったいない」「帰るのを減らしたら」とよく言われます。けれど、無理をしても帰国し、年を取って来た両親と一緒に過ごします。

そんな家族と離れたがらない私が、なぜ遠い日本に留学したのか？ それは、マレーシアより医学・科学の発達した日本の高専と大学で学び、将来、腎不全などの副作用を起こさない糖尿病の治療薬を開発したいからです。私の両親は糖尿病なのです。（食べたい、という欲望に負けて健康を害したわけではなく、体質の問題です。）日本語は難しいけれど、生活が大変なこともあるけれど、私は絶対にあきらめないで勉強し、夢をかなえるつもりです。

たとえば、このスピーチコンテストに、私はずっと参加したいと思っていました。自分の日本語では無理かもしれない。けれど、日本語の勉強を毎日頑張って、3年目の今年、参加することができました。

専門の勉強も一生懸命し、奨学金試験に合格し、目指す大学の編入試験にも合格でき、家族もとても喜んでくれています。私はこれからも一つひとつの目標に向かって、努力を続けて行くつもりです。

映画を見た後で、「こうしなければならぬ」と自分に命令する「脳」も、自分の一部なのかもしれないと考えるようになりました。

自分の「脳」を他人の考えでなく、自分の考えにしたい。人生でこうしたい、こんな自分でいたい、という夢に向かって「脳」と「心」を一致させて生きて行きたい。必ず来る人生最期の時に後悔しないよう、思いっきり生きたい。それが私の幸せだ。今、そう思っています。

皆さんも、人生の最期に後悔しない生き方を送れるよう、頑張ってください。一緒に頑張りましょう。

美しい日本語の片鱗を見る日まで

松山大学
セキ・カイ 【中国】



とても良く晴れた日、やっと松山大学に来ました。頭に浮かんだのは、彼女のにこやかな笑顔です。彼女と同じ町の空気を吸い、同じ町で新しい生活を体験していきます。彼女は去年同じく松山大学へ交換留学に来た桜先輩です。彼女との出会いは二年前です。

日本語学科に入学したばかりの私は、授業で先生に質問されても、いつも何も答えられなくて、うつむいたままでした。日本語が怖い、つらい。どうして日本語学部を選んだのか、分からなくなるくらい状態になってしまいました。初めて大学の門をくぐった時の気持ちは、どこに消えたのでしょうか。「私なんか」と頭をうなだれ、ぶつぶつ言いながら、毎夜、月明かりの下、寮までの道を歩いている日々でした。

ある日の午後、どこかから宋詞を読む声が聞こえてきました。校内では時々、英語を練習する学生の声を耳にすることはありますが、中国語、ひいては、宋詞の朗読は、はじめて聞きました。それは噴水の前に立つ、女の子の声でした。

ある日、選択授業で先生が宋詞に関する質問をすると、教室の前方に座っていた一人の女の子が立ち上がり、答えました。

「あ、あの声…」

忘れようにも忘れられない、記憶の中の彼女でした。

「素晴らしい！確か、君は日本語学部だったよね？」

先生のを聞いて、私はハッとしました。彼女は私と同じ日本語学部だったのです。授業の後、彼女に声を掛けずにはいられませんでした。

彼女の名前には「桜」という字があり、和の雰囲気はどこか漂っていました。先輩と話しているうちに、先輩が日本で生まれ育ったことを知りました。小学校のとき、中国に戻った先輩は当時、中国語が一言もできず、右も左も分からないままでした。その時、どんなに心細かったか、私には想像できないものでした。授業の他に、毎日2時間、1年に千時間以上勉強し、先輩はやっと中国語が話せるようになりました。しかし、どんなに中国語が話せるようになっても、宋詞を読むとき、心の深いところに違和感があったそうでした。中国人の両親の下、中国で生まれ育った私にとっても難しい宋詞は、先輩にとって理解できるまでどんなに苦労してきましたか。

私の前にある「日本語」という高い壁。日本に憧れて日本語を専攻したのに、近づけば近づくほど、大きくなるその壁に押し倒されそうです。私に勇気を与えたのは、日本で生まれ育ち、中国語が全く話せなかった彼女でした。続けることの大切さを、その意義を、彼女の中国語から知ったのです。

私が松山大学に来た契機となったのも桜先輩の一言――「人情溢れる素敵な町」。そう、その通りです。毎回遠くから私を見て、ニコニコしながら手を振るチューター。駅で困っている私を見て、すぐ「どこに行くの？」と聞いてくれたお姉さん。授業で「石さんですか。」と話しかけてくれた去年うちの大学へ短期留学に来た松山大学生。一人イヤホンを付け、下を見ながら歩く人いっぱいの上海より、松山のほうが人々の繋がりが私の心に響きました。

日本語で皆さんと交流できて、心から日本語を習って良かったと思います。日本語でしか表すことができない世界、日本語の持つその世界の片鱗が見えるようになる日まで、私は努力を続けます。

ドラキュラ。伝説の背後にある真実

愛媛大学

ステファネスク・ミハエラ・エウジェニア 【ルーマニア】



ルーマニアと聞いたら、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。今まで出会った日本人は、コマネチ、チャウシェスク、ドラキュラと答えてくれました。皆さん、ドラキュラについて聞いたことがありますか。ドラキュラの故郷がルーマニアだと知っていますか。

ドラキュラの有名な伝説は、世界中はもちろん、日本でもよく知られています。ドラキュラが主人公の映画、ドキュメンタリー、小説もたくさんあります。日本でも様々なゲーム、マンガ、アニメでドラキュラが登場しています。しかし、伝説の背後にある歴史的な真実を知っていますか。ヴラド・ツェペシュという名前を知っていますか。ルーマニア人はドラキュラをヴラド・ツェペシュと呼んでいます。

ヴラド・ツェペシュの「ツェペシュ」は「串刺し」という意味です。ヴラドが敵に行なった拷問から「串刺し」、ツェペシュと呼ばれました。多くの敵が串刺しで殺されました。ヴラドの敵は、彼が悪魔であり、超自然的な力を持っているといいました。敵の血を飲むことが好きだという噂もありました。だから、ツェペシュは吸血鬼のようなイメージを持たれました。では、「ドラキュラ」はどういう意味ですか？実は、ルーマニア語で「ドラキュラ」は吸血鬼という意味ではありません。「ドラクルの息子」という意味です。でも、元々「ドラクラ」が「悪魔」という意味なので、「ドラキュラ」という言葉は悪いイメージだったのです。

ヴラド・ツェペシュは公正ですが、無慈悲な支配者でした。そのため、当時ルーマニアだけでなくヨーロッパ全体で最も恐れられているリーダーでした。しかし、その時代のルーマニア人には尊敬され、愛されるリーダーでした。ツェペシュはルーマニア人のために戦って、国を守った人です。ですから、私は彼を尊敬しています。一方ドラキュラは架空の人物です。ドラキュラの物語に興味があって、面白いと思いますが、私たちルーマニア人は彼らを混同しません。ヴラド・ツェペシュとドラキュラへの思いは全然違います。しかし、残念ながら、ほかの国の人は、歴史上のツェペシュと民間伝承のドラキュラを混同していることが多いです。私はそれを残念に思います。ですから、留学している間に、日本人と仲良くなったら、今日のように、ドラキュラの伝説の背後にある真実を少しずつ伝えていきたいです。

毎年、たくさんの外国人観光客がルーマニアに来て、ドラキュラの家を訪れます。もちろん、最も人気のある場所はドラキュラの城とされるブラン城です。また、ヴラドが生まれたシギショアラという中世の町は素晴らしいです。そして、伝統的な食べ物は、観光客に非常に人気があります。神秘的なドラキュラの物語を個人的に体験したり、ドラキュラの伝説の背後にあるヴラド・ツェペシュの真実を理解したりするために、ルーマニアにぜひ来てください！

これで私のスピーチを終わります。ご清聴ありがとうございました。

内向的の力

弓削商船高等専門学校
アブ・バカル・ビン・オスマン 【マレーシア】



私は内向的です。今日はこんな内向的な私にもある強みについてお話ししたいと思います。
私のような内向的な人間は、自分が社会的に厄介で、恥ずかしがりやで無口に見られていることをよく分かっています。内向的な人間は人付き合いをするエネルギーを持っていないかのように思われがちですが、実際には他の人と同じように「エネルギー」は持っています。しかし、誰かと話すことや人前に出ることによって「エネルギー」が非常に速く減ります。ですから、一人で過ごすことで「チャージ」する必要があります。私はいつも自分の部屋で一人で、ゲームをしたり、インターネットでウェブコミックを読んだりして「チャージ」しています。

さて、次に、内向的な人の強みについてお話しします。

まず、内向的な人は良いリスナーであり、優れたアナリストです。話すことが好きな人は良い聞き手になるのは難しいと思います。私は相手が話すのを待ち、まず聞くことを優先します。そしてそれを聞いて、それを理解するために状況を分析します。その考え方が本当に大切です。私の経験では、話がどれほどバカげていても、彼らが何を話したいのかを知りたいので、まずは聞くことを選びます。

第二に、優れた想像力があります。内向的な人が一人で時間を過ごす時間が多いため、頭の中でアイデアが多く生まれます。そのアイデアは、ファンタジーの世界でしか起きないような事、まだ人類の誰も見たことのないような発明かもしれません。私は、常に自分のゲームの戦略を考えたり、将来のことを空想したりしています。それだけでなく、タイムマシンについても考えたりすることもあります。奇妙じゃないですか？ 私たちは黙っている時でも頭の中で、いろいろなアイデアをどんどん膨らませているということもできます。

第三に、私たちはいつも慎重に準備をします。これは、想定外のことが起きることを常に想像しているためです。しかし、内向的な人は考えすぎるため、時間がかかります。多くのことを考え、脳の中のいろんな回路をたどるためです。

私はこのスピーチのために多くのことを準備をし、常に誰かを楽しませたいと考えているので、私はこのスピーチを楽しく聞いてもらえたらと思っています。

最後に、私はあなたたちの最高の親友になれると思っています。ほとんどの場合、内向的な人は友情に忠実です。そして、その友情に本当に感謝しています。ですが、人の話を聞き、分析し、想像し、準備をしている間に、退屈に思わせてしまっていることがあります。

私が内向的だからといって、友達を作りたくないというわけではありません。私の人生を豊かにするためには友達が絶対に必要です。

結論として、内向的な人は社会で生きる力を持っていますが、私たちの「エネルギー」はすぐに減少します。ですから、「チャージ」のための時間を一人で持つ必要があります。私は内向的な人の見方を変えられることを本当に望んでおり、また私のスピーチを楽しんでくれることを本当に望んでいます。ありがとうございました。

韓国を旅行する

松山大学
キム・ミンジ 【韓国】



こんにちは。私は今度の韓国旅行のガイドを引き受けたキムミンジと申します。
韓国旅行の日程は2泊3日間進行されます。
大韓民国は中国と日本の間にある国家です。首都はソウルで韓国語、つまりハングルを使います。
美しい見所と美味しい食べ物が多くて旅行するのに良い国だと思います。
まず、一日目はコンデ入口駅に行きます。建国大学校キャンパスツアーがある予定です。
ここが建国大学校です。学校が広くて建物から建物に移動するのに時間がかかりかかります。
建国大学校には湖がありますが、学園祭の期間には船に乗ることもできます。
ツアーが終わるとタッカルビを食べて漢江に移動します。タッカルビは写真のように、鶏肉と野菜を一緒に炒めた料理です。漢江は景色がよくて韓国人に人気のある場所です。
ハンガンでチキンと猟奇トポッキを食べながら景色を見物したり話をします。
チキンはプリンクルとハニーコンボが有名ですが辛くなくて外国人も簡単に食べられます。
猟奇トポッキは辛いトポッキですが、辛さを選択して食べられます。
二日目はホンデ入口駅に行ったあと、ヨンナムドンへ行きます。
ヨンナムドンにはレストランがたくさんあるので、食べたいものが食べられます。
また延南洞には綺麗なカフェと小物ショップがたくさんあります。
ここで美味しいデザートを食べ、オブジェクトで可愛い小物を見物することができます。
明朗ホットドッグとタピオカ飲料の空茶もおすすめです。
最後の日には鍾路に行きます。
鍾路は韓国の伝統が一番よく感じられる所です。
鍾路では古宮たちと韓屋村を鑑賞することができます。
古宮は景福宮、徳寿宮、昌慶宮などがあります。
古宮は古い宮殿で、昔王たちが住んでいた場所です。
古宮たちを見物した後広蔵市場へ行きます。
クァンジャン市場では麻薬のり巻きとビンデトクが食べられます。
これ以外にも美味しい韓国料理とデザートがたくさんあります。
今まで韓国旅行のパッケージを紹介しました。
今回の旅行パッケージが気に入ったら済州島旅行パッケージもお勧めします。
済州島は大韓民国の南側にある最大の島です。
済州島では青い色の海と城山日出峰、ウドなどが見られます。
済州島の食べ物では黒豚と肉そばが有名です。
済州島旅行を申し込むと、このすべてのことを経験できます。
お聞きくださいませ、ありがとうございます。

日本人は優しい

松山東雲女子大学
スロ・リスラエン 【カンボジア】



私はカンボジアで小学校の6年生から日本語を勉強してきました。私が勉強した日本語学校は無料で、日本人が経営していました。その日本人は高山良二さんと言います。高山さんはカンボジアのある村で、地雷の撤去をされています。私は母のすすめで、高山さんの日本語学校で勉強するようになりました。日本語を勉強するうちに、日本へ行きたいと思うようになりました。高山さんは私のその夢を叶えてくれました。2013年から日本で留学しています。来日してすぐに、日本の学校に入りました。日本人生徒は会う機会はたくさんありましたが、不思議なことに寂しかったです。食堂で声をかけたり、同じ授業を取って友達になるきっかけを作ろうとしましたが、残念ながら、声をかけても返事してくれなかったり、無視されたりしたこともありました。ある日道に迷って、誰かに教えてもらおうと思って聞こうとした途端、日本語で聞いているのに「英語分かりません!」と言われたこともありました。私の日本語は、英語っぽいですか!?

外国人の友達がたくさんできましたが、日本人の友達は少ししかできませんでした。やっと夢の国に来た私は、この国の人と仲良くしたくて、したくてたまらなかったです。しかし、どれだけ話したくても、シャイな日本人と挨拶もできないことが多かったです。うまくコミュニケーションが取れないので、日本人は「冷たいなあ」と思うようになりましたが、今の私は日本人の良いところも十分理解できるようになりました。日本人はシャイですが、とても優しい人達だと思います。

私の経験からたくさんの例を挙げることができます。道を渡りたいけど、信号を変えるにはボタンを押さなければならないことを知らずに、なかなか青に変わらない信号を待っていると、仕事帰りの会社員が、外国人の私に気がついて、わざわざ来て説明してくれ、ボタンを押してくれました。私がパスポートを落とした時も、財布をATMに忘れた時も、ちゃんと戻ってきました。とても感動しました。

特に、仲良くしてくれた高校の友達に「ありがとう」と言いたいです。日本人と仲良くなるには時間がかかりますが、友達になったら大変大切にしてもらえます。大学が違っていても、私たちの付き合いは変わりません。夏休みや冬休みにいつも会いに来てくれます。何か困ったことがあれば、いつでも相談にのってくれます。私の大切な友達です。

また、日本は礼儀正しい国です。素敵な礼儀正しい振る舞いは、いろんなところで見られます。例えば、スーパーやコンビニでの行列のマナーです。皆、イライラせずに順番を待っています。これは私の国で見られない風景です。日本人は、相手のことをよく考えて、お互いに困らないように行動しているようです。優しいですね。大きな災害があっても、あきらめなくて、みんなと一緒に困難を乗り越えようとする日本人の姿は、素晴らしいと思います。

日本人のことを知れば知るほど好きになって、今は、ずっと日本に住みたいと思っています。私も日本人のように生活をしたいです。だから、私が「こんにちは」といったら、「こんにちは」と言ってください。英語じゃありませんから!

構成団体が主催又は後援した国際交流事業(H.30.10～R.1.9)

団体名 愛媛大学

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
H30.11.4	留学生日本語スピーチコンテスト	愛媛県留学生等交流推進会議が主催する日本語スピーチコンテストに参加。(本学より3名入賞)	4
H30.11.23	伝統体験(座禅&茶道)	日本伝統の一つ座禅、抹茶を体験。(松山つばきライオンズクラブ主催)	41
H30.11.23	留学生サイクリング	スポーツサイクルに乗って、各サイクリングコースの中で日本文化を体験。(愛媛県中予地方局)	8
H30.11.24	きづきの森で遊ぼう	森と人との関わり、森のはたらきを考える環境体験学習を通して留学生と地域住民が交流し環境への理解を深める。(くみあい船舶・愛媛新聞社)	9
H31.2.15	留学生友好の森づくり事業	石手川ダム上流域の自然環境を知ってもらうと同時に、小中学生と交流する。(石手川ダム水源地域ビジョン推進委員会・愛媛大学・松山市立日浦小中学校)	11
H31.2.27	内子モニターツアー	内子町の魅力を体験し、その後の交流の活性化を図るツアー。(内子町町並・地域振興課)	4
H31.3.14	久万高原町のくままちひなまつり体験	観光まちづくりの取組みに参画し、異文化の視点から様々なアイデアを聞き、まちづくりの活性化を図る。(愛媛県中予地方局)	5
H31.4.6	新入留学生オリエンテーション	日常生活のガイダンスを行うとともに、チューターや教職員との親睦を図る。(協力:松山東署・松山中央消防署)	47
H31.4.7	松山春祭り・パレード	留学生が母国の料理や物品を松山春祭りご当地グルメフェスタブースに出展・パレードに参加。(松山青年会議所)	22
R1.5.11	国際親善交流会	伝統文化「箏」の演奏を楽しみながら国際交流会。(国際ソロプチミスト松山主催)	22
R1.5.16	松山城観光・俳句制作(大阪市立咲くやこの花中学校)	修学旅行の中学生と松山城観光や俳句制作を通じ国際理解を深める	10
R1.6.8	砥部焼き体験	砥部焼きの陶芸体験(ろくろ回し・絵付け)、地元陶芸家との交流。(砥部ライオンズクラブよりご招待)	15

R1.7.21	E-トークキャンプ	英語を公用語として、留学生と松山の中学生と一緒に日常体験・交流を行うことで、英語の学習や海外への意識促進を図る。 (松山市青少年育成市民会議)	13
R1.7.26	外国人留学生パーティー	平成31年4月入学の新入生の歓迎会と令和元年9月卒業・修了生の送別会を兼ね、日本人学生及び教職員との親睦を図る。	70
R1.8.31	地引網とBBQ	愛媛大学の留学生と、市内の児童福祉施設の園児が海岸清掃活動、地引網、バーベキューを通して交流を図る。(松山北ライオンズクラブよりご招待)	6
R1.9.27	新入留学生オリエンテーション	日常生活のガイダンスを行うとともに、チューターや教職員との親睦を図る。(協力:松山東署・松山中央消防署)	59

団体名 松山大学

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
H30.10.27	四大学留学生で行く宇和島バスツアー 2018	愛媛大学、松山大学、松山東雲女子大学・短期大学、聖カタリナ大学の留学生が愛媛の産業、文化などを学習するため、留学生相互の親睦を兼ねた研修旅行へ参加した。	4
H30.11.4	留学生日本語スピーチコンテスト in 愛媛 2018	愛媛県留学生等交流推進会議が主催する日本語スピーチコンテストに参加(うち1名が優最秀賞を受賞)	5
H30.11.25	外国人による日本語弁論大会	松山湯築ライオンズクラブが主催する日本語弁論大会に参加した。	2
H30.12.8~9	国際交流バスツアーin 広島	広島方面への1泊2日バスツアー「平和公園」「宮島」「厳島神社」	33
R1.5.11	国際ソロプチミスト松山主催 国際親善交流会	日本の伝統文化(日本舞踊)に親しむ交流会	41
R1.6.8~9	国際交流バスツアーin 別府・大分	大分・別府方面への1泊2日バスツアー「別府地獄めぐり」「明礬(みょうばん)湯の里」「豊後高田」	3
R1.6.30	G20愛媛・松山労働雇用大臣会合推進協議会	G20サミット開催記念えひめ・まつやまOIC(おいし〜)フェスタ 異文化交流会	2

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
地域団体等との交流			
H30.11.4	「留学生スピーチコンテストin愛媛2018」(愛媛県留学生等交流推進会議)	愛媛県留学生等交流推進会議が主催する日本語スピーチコンテストに出場。	1
H30.11.25	「外国人による日本語弁論大会」(松山湯築ライオンズクラブ主催)		1
R1.6.8	「俳句教室」(松山南ライオンズクラブ主催)	地域団体等の交流により国際親善、留学生同士の交流を深める。	3
R1.7.20	「異文化料理教室」(桑原まちづくり協議会との共催)		3
研修旅行			
H30.10.27	愛媛の4大学留学生で行く東予(新居浜・西条・今治)バスツアー	愛媛大学,松山大学,松山東雲女子大学・短期大学,聖カタリナ大学の留学生が愛媛の産業,文化などを学習するため,留学生相互の親睦を兼ねた研修旅行へ参加した。	2
H30.12.8	フィールドトリップ「内子町を満喫」する旅	愛媛県の文化や魅力を知ることが目的とした研修旅行。	3
R1.6.23	フィールドトリップ「しまなみ海道を満喫」する旅		5
学内交流			
H30.11.17～11.18	学園祭 東雲祭	学祭への参加により日本の大学祭文化にふれ、地域住民との交流を図る。	3
H30.12.13	「連携交流センタークリスマスパーティー」	学内のイベントを通して、日本人学生との交流・理解を深める。	3
H31.1.24	「留学生卒業予定者送別会」		3
R1.7.12	「清涼祭」		3

団体名 今治明德短期大学

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
H30.11.10	しまなみグリーン・ツーリズム推進協議会	みかん狩りに参加し、農家の方よりみかん作りやかんきつ類の知識を学ぶ。	20
H30.11.30	今治市立別宮小学校国際交流授業	小学校に訪問し、国の文化を紹介する。	2
H31.4.28	半島四国八十八ヶ所めぐりクリーンウォーク	地域の人々とお遍路を学びながら、清掃活動をする。	11

団体名 新居浜工業高等専門学校

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
H30.10.7~8	留学生研修旅行	日本の奥深い文化や歴史建造物に触れることにより、日本をより一層理解するとともに、留学生同士の交流を活発にすることを目的に、大分へ研修旅行を行った。	6
H30.10.28	国際交流着物パーティー	新居浜ガイドクラブ主催の「国際交流着物パーティー」に参加し、市内在住の外国人や一般市民と親睦を深めた。	2
H30.11.3~4	学園祭(国領祭)	学園祭催事に留学生コーナーを設け、一般来場者との交流を行った。	6
H30.12.10~14	留学生ウィーク	留学生と留学生の母国(今回のスピーチ紹介はラオス)を本校学生、教職員、地域の方々に紹介し、相互理解を深めた。	6
H30.12.15~16	四国地区高専総合文化祭	四国地区5高専(6キャンパス)の留学生が紹介コーナー等を設け、他学校学生や一般来場者との交流を深めた。	6
H31.4.7~8	マレーシア国民大学との交流会	本校留学生OBやマレーシア国民大学の学生が来校し、交流会を開催した。	6
R1.5.10	新居浜ユネスコ協会総会	新居浜ユネスコ協会から依頼があり、マレーシア留学生が母国紹介を行い、質疑応答などで交流を深めた。	2
R1.6.23	日本語スピーチコンテスト	にいほま日本語の会主催の「日本語スピーチコンテスト」に参加し、市内在住の外国人や一般市民にを前にスピーチを行った。	2
R1.6.25	外国人留学生歓迎交流懇談会	新たに入学した留学生を歓迎するとともに、地域支援団体、教職員、指導学生、在学生代表等が一堂に会し、相互理解と親睦を深めた。	6
R1.6.29	台湾国立聯合大学生との松山バスツアー	中国語教育実習生およびインターンシップ生として来日している台湾国立聯合大学生とともに松山市の名所史跡を巡った。	3
R1.7.7	国際交流七夕ゆかたパーティー	新居浜ガイドクラブ主催の「国際交流七夕ゆかたパーティー」に参加し、市内在住の外国人や一般市民と親睦を深めた。	4

団体名 弓削商船高等専門学校

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
H30.11.10	外国人留学生実地見学旅行	外国人留学生が、日本の文化に触れる機会を設けることを目的とし、平和公園・原爆ドーム、厳島等を訪問した。	5
H30.12.16	学校の枠を越えた外国人留学生の交流活動	文化的活動体験を通じて日本文化についての理解を深めるとともに、四国地区高専の外国人留学生の交流を維新することを目的として実施した。【香川高専 詫間キャンパス主催】	3

団体名 愛媛県

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
H30.10.20~10.21 H30.10.27~10.28	留学生等国際交流推進事業	留学生が一般家庭にホームステイし、県内企業、観光・文化施設等への訪問や、地域行事に参加する交流事業	30 ※各回15人参加
H30.12.1	しまなみ海道 サイクリング体験会	日本特有の自転車利用のルールを学習するとともに「瀬戸内しまなみ海道」でサイクリングを体験	22

団体名 松山市

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
H30.11.25	松山湯築ライオンズクラブ国際関係事業 第12回 外国人による「にほんご」弁論大会	国際交流を目的とした、松山市民を巻きこんでの地域活性事業。 小学校から大学に在学する留学生における日本語習得の教育成果発表の場。	14

団体名 新居浜市

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
H31.2.10	第29回グローバルパーティー	グローバルパーティーを楽しもう会及び愛媛SGGクラブ新居浜支部主催の「第29回グローバルパーティー」について共催した。	-
R1.6.23	日本語学習者による第17回日本語スピーチコンテスト	にはま日本語の会主催の「日本語スピーチコンテスト」について共催した。	-
R1.7.7	国際交流七夕浴衣パーティー	新居浜ガイドクラブ主催の「国際交流七夕浴衣パーティー」について共催した。	-

団体名 砥部町

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
H30.10.21	国際交流デイキャンプ	幼稚園・保育所の園児及び保護者を対象に、国際感覚を養うことを目的に、ゲームや英会話を楽しみながら外国人留学生との交流を行った。	6
H30.12.2	国際交流デイキャンプ	町内の小学校児童を対象に、国際感覚を養うことを目的に、留学生やボランティアリーダーとゲームや軽スポーツを楽しみながら交流を行った。	12
R1.6.30	国際交流デイキャンプ	町内の小学校児童を対象に、国際感覚と異文化交流を目的に、留学生にボランティアリーダーと楽しみながら交流を深めた。	5
R1.7.27～28	国際交流サマースクール	言葉や文化の違いを越えて交流することにより、違った物に対する偏見を無くし、広い視野を持った心豊かな子ども達を育成し、国際理解を促進し、人や自然に対する思いやりを持った、優しい人間性豊かな若きリーダーを育成することを目的とする。	7
R1.9.29	国際交流デイキャンプ	町内の小学校児童を対象に、国際感覚を養うことを目的に、留学生やボランティアリーダーとゲームや軽スポーツを楽しみながら交流を行った。	10

団体名 (公財)愛媛県国際交流協会

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
H31.3.4～15 (土日を除く10日間)	外国人日本語学習支援事業「春季日本語学習集中講座」	在県外国人の日本語レベルに応じた学習の機会を提供し、日本語能力の向上により県民とのコミュニケーションの円滑化、相互理解を促進した。	14
R1.8.19～30 (土日曜日を除く10日間)	外国人日本語学習支援事業「夏季日本語学習集中講座」	在県外国人の日本語レベルに応じた学習の機会を提供し、日本語能力の向上により県民とのコミュニケーションの円滑化、相互理解を促進した。	17
〃	にほんごフィールドワーク(防災学習)	夏季日本語学習集中講座の実施に合わせ、災害時を想定したいざという時の備えや行動、緊急時の日本語について総合的に学ぶ機会を提供した。	17

団体名 南海放送株式会社

開催年月日	国際交流事業名	事業の概要	留学生参加人数
H30.11.4	留学生日本語スピーチコンテストin愛媛2018	愛媛県留学生等交流促進会議主催、南海放送の協力・企画運営で、2004年から実施し15回目。2007年からはラジオ中継をし、その後、CATVの「ウィットチャンネル」での中継や、インターネットの動画配信を行っている。	15

愛媛県内高等教育機関における外国人留学生受入状況

令和元年10月1日現在

国籍等	愛媛大学	松山大学	聖カタリナ大学	聖カタリナ大学短期大学部	松山東雲女子大学	松山東雲短期大学	今治明德短期大学	環太平洋大学短期大学部	愛媛県立医療技術大学	新居浜工業高等専門学校	弓削商船高等専門学校	合計
アメリカ	2											2
イギリス	1											1
インド	3											3
インドネシア	42											42
エジプト	1											1
エチオピア	1											1
ガーナ	1											1
ガボン	1											1
韓国	44	2	2									48
カンボジア					1							1
ケニア	1											1
コスタリカ	1											1
コンゴ民主共和国	1											1
ジンバブエ	1											1
タイ	6											6
台湾	15	1	26	2								44
中国	94	16	1		1		71					183
ドイツ	2											2
トルコ	1											1
ナイジェリア	1											1
ネパール	3											3
バングラデシュ	17											17
フィリピン	6											6
ブラジル	1											1
フランス	3		1									4
ベトナム	10		1				40					51
マレーシア	18									4	2	24
ミャンマー	4						1					5
メキシコ	1											1
モザンビーク	4											4
モンゴル	1									1		2
ラオス										1	1	2
ルーマニア	1											1
レソト	1											1
合計	289	19	31	2	2	0	112	0	0	6	3	464

(2)外国人留学生数の推移

(3)出身地域別留学生数

(4)出身国・地域別留学生数

(5)在学段階別留学生数

上記(2)～(5)の平成 30 年度データにつきましては、下記独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)ホームページをご参照ください。

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)ホームページ URL:

https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_e/2018/index.html

愛媛県留学生等交流推進会議規約

(名称)

第1条 本会は、愛媛県留学生等交流推進会議（以下「推進会議」という。）と称する。

(目的)

第2条 推進会議は、愛媛県における外国人留学生等（以下「留学生等」という。）の受入れ及び地域社会との交流に関する諸方を協議し、もって国際交流の推進に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 推進会議は、前条の目的を達成するために、次の事項について協議する。

- (1) 留学生等の受入れの推進
- (2) 留学生等の教育及び生活環境の整備
- (3) 留学生等と地域社会との交流の促進
- (4) 地域社会に対する啓発
- (5) その他推進会議の目的達成に必要な事項

(構成)

第4条 推進会議は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 県内に所在する大学、短期大学及び高等専門学校の長
- (2) 県内に所在する国の機関及び地方公共団体並びに経済団体及び国際交流関係団体等の長又は代表者各1名
- (3) 学識経験者若干名

(役員)

第5条 推進会議に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名

2 会長には、愛媛大学長をもって充て、副会長は推進会議の議を経て会長が委嘱する。

(役員の仕事)

第6条 会長は、推進会議を代表し、会務を統括する。

- 2 会長は、会議を招集し、その議長となる。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、予め定める順位に従ってその職務を代行する。

(顧問)

第7条 推進会議に顧問を若干名おくことができる。

2 顧問は、推進会議の議を経て会長が委嘱する。

3 顧問は、推進会議の運営及び事業に関し、必要な助言を行う。
(構成員以外の出席)

第8条 会長が必要と認めるときは構成員以外の者を会議に出席させることができる。

(運営委員会)

第9条 推進会議の円滑な運営を図るため、運営委員会を置く。

2 運営委員会は、第4条第1号及び第2号に掲げる機関・団体等の実務担当責任者のうちから、会長が委嘱する者をもって組織する。

3 運営委員会に委員長を置き、愛媛大学国際連携推進機構長をもって充てる。

4 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。

5 運営委員会の運営に関し必要な事項は、運営委員会が定める。
(事務)

第10条 推進会議の事務は、愛媛大学国際連携支援部国際連携課において行う。

(雑則)

第11条 この規約に定めるもののほか、推進会議の運営に関し、必要な事項は推進会議が定める。

附 則 この規約は、平成2年7月12日から施行する。

附 則 この規約は、平成11年11月26日から施行し、平成11年4月1日から適用する。

附 則

この規約は、平成14年11月15日から施行し、平成14年4月1日から適用する。

附 則

この規約は、平成16年11月16日から施行する。

附 則

この規約は、平成18年10月25日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

附 則

この規約は、平成21年10月29日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

構成員名簿

令和元年10月1日現在

	機関・団体名	代表者	氏名
教育機関	愛媛大学	学長	大橋 裕一
	松山大学	学長	溝上 達也
	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	学長	ヒビノ・サマゲル
	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	学長	高橋 圭三
	今治明德短期大学	学長	野口 学
	環太平洋大学短期大学部	学長	大橋 節子
	愛媛県立医療技術大学	学長	橋本 公二
	新居浜工業高等専門学校	校長	八木 雅夫
	弓削商船高等専門学校	校長	石田 邦光
国・地方 公共団体	国立大洲青少年交流の家	所長	眞鍋 幸一
	高松入国管理局松山出張所	所長	神高 英彰
	愛媛県	知事	中村 時広
	愛媛県教育委員会	教育長	三好 伊佐夫
	愛媛県市長会(新居浜市)	会長	石川 勝行
	松山市	市長	野志 克仁
	新居浜市	市長	石川 勝行
	今治市	市長	菅 良二
	宇和島市	市長	岡原 文彰
	東温市	市長	加藤 章
	愛媛県町村会(内子町)	会長	稲本 隆壽
	上島町	町長	宮脇 馨
	砥部町	町長	佐川 秀紀
経済団体	愛媛県商工会議所連合会	会頭	佐伯 要
	愛媛県商工会連合会	会長	村上 友則
	愛媛県中小企業団体中央会	会長	服部 正
	愛媛経済同友会	代表幹事	新山 富左衛門 西川 義教
国際交流 関係団体 等	公益財団法人愛媛県国際交流協会	理事長	本田 元広
	公益財団法人松山国際交流協会	理事長	二神 久士
	愛媛県海外協会	会長理事	中山 紘治郎
	公益社団法人日本青年会議所四国地区愛媛ブロック協議会	会長	伊藤 泰
	松山東ロータリークラブ	会長	村上 博英
	松山中央ライオンズクラブ	会長	山本 宗宏
	愛媛県ユネスコ連絡協議会	会長	神山 充雅
	一般社団法人愛媛県医師会	会長	村上 博
報道関係	株式会社愛媛新聞社	代表取締役社長	土居 英雄
	株式会社テレビ愛媛	代表取締役社長	尾谷 牧夫
	南海放送株式会社	代表取締役社長	田中 和彦
	日本放送協会松山放送局	局長	岩間 正之

運営委員名簿

令和元年10月1日現在

機関・団体名		職名	氏名
教育機関	愛媛大学	国際連携推進機構長	杉森 正敏
		国際連携推進機構副機構長	榑原 正幸 隅田 学
	松山大学	国際センター事務部次長	高橋 宏治
	聖カタリナ大学	学生支援課長	大橋 尚哉
	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	学生支援課 課長補佐	楊 泓
	新居浜工業高等専門学校	国際交流推進室長	福光 優一郎
国・地方 公共団体	愛媛県	国際交流課長	松田 雄彦
	愛媛県市長会(新居浜市)	事務局長	平岡 陽一
	松山市	観光・国際交流課国際交流担当課長	芳野 昌宏
	愛媛県町村会(内子町)	事務局長	渡部 明忠
経済団体	愛媛県商工会議所連合会	専務理事・事務局長	土居 忠博
	愛媛経済同友会	事務局長	川平 明生
国際交流 関係団体 等	公益財団法人愛媛県国際交流協会	専務理事	富田 実
	公益財団法人松山国際交流協会	事務局長	福本 正行
	公益社団法人日本青年会議所四国地区愛媛ブロック協議会	会長	伊藤 泰
	松山東ロータリークラブ	会長	村上 博英
	松山中央ライオンズクラブ	会長	山本 宗宏

愛媛県留学生等交流推進会議事務局

〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学国際連携支援部国際連携課
TEL 089-927-9162 FAX 089-927-8967